

山田将吾君と池野和麻君が甲子園へ！

写真左から、山田将吾君（延岡学園2年、星鹿）と池野和麻君（清峰高校2年、川原辺田）



「第78回選抜高校野球大会」（3月23日～、甲子園）に、延岡学園（宮崎県）と清峰高校の出場が決まり、2校の野球部に所属する山田将吾君と池野和麻君が甲子園へ行くことが決定しました。

2人は、小学生のとき星鹿少年ソフトボールクラブに、中学生のとき御厨中野球部に所属。その後、互いに甲子園を夢見てそれぞれの高校に進学

し、今回甲子園への出場を決め、レギュラーとして出場予定です（池野君は2回目の出場）。

少年ソフト時代の恩師である松本秀人監督（川原辺田）は「甲子園出場は夢だったので、本人たちも私たちもとても喜んでいきます。活躍を期待しています。皆さんも応援よろしくお願ひします」と話していました。

大川さんが取材・記事作成を体験

志佐中学校2年生の大川典子さんが、市役所企画振興課で職場体験学習をし、右記の記事を作成しました。

大川さんは記事の書き方や取材方法の説明を受けたあと、市内の事業所を訪れ、中学生の職場体験の様子を取材。取材した内容をもとに記事を書き、見出しを付け、パソコンを使って記事や写真をレイアウトする紙面作成に取り組みました。



最初は「どうなることかと不安でしたが、無事に記事を書くことができました。取材では質問を考えるのがたいへんでした。」

中学生が職場体験

志佐中学校の生徒が1月25日、志佐町内で職場体験活動を行いました。

総合学習の一環で、社会人としての勤労意欲をもってもらうことなどを目的として行われたものです。

この日は、同校の2年生91人が公共施設や商業施設、病院、自動車整備工場など25カ所でさまざまな仕事を体験しました。

図書館で職場体験をした岡本聡美さんは「本の整理などをして思っていたより大変だったけど楽しかったです」と話してくれました。



グラウンドゴルフで交流

平成 17 年度松浦市高齢者グラウンドゴルフ大会が 2 月 4 日、市民運動公園で行われました。

グラウンドゴルフで互いの親ぼくと健康増進を図ることを目的に行われています。

この日は、市内 28 チームから 194 人が参加。上位 10 人は、松浦市代表として「第 3 回長崎県ねりんピック」(5 月 13 日、諫早市で開催)に出場します。

結果は次のとおりです(敬称略、() はチーム名)。

- ①辻田真二(さわやか) ②荒岩嘉助(中野) ③富本丸子(里不老会) ④谷口純一(BSクラブ) ⑤岩永優志(星鹿) ⑥富本真澄(里不老会) ⑦西信義(北久保) ⑧村中豊(福島福寿会) ⑨近藤暁子(さわやか) ⑩前田千鶴子(木場)



小中学生が友情や夢を発表

第 19 回志佐町青少年健全育成会議弁論大会(志佐・上志佐地区青少年健全育成会議主催)が 2 月 11 日、市役所市民ホールで開催されました。

弁論大会を通して、子どもたちの健全育成と青少年健全育成地区組織の活動の推進を図ることを目的に毎年行われています。

この日は、小学生の部 7 人、中学生の部 10 人が発表。小学生の部で「ふせごう動物の絶めつ」というテーマで発表した坂本惇君(志佐小 6 年、写真右)が、中学生の部で「命の大切さ」というテーマで発表した磯本真穂さん(志佐中 3 年、写真左)がそれぞれ最優秀賞に選ばれました。



NHK 全国俳句大会で特選

つねのり
縣恒則さん(前田、67)

平成 17 年度 NHK 全国俳句大会で縣恒則さんの俳句が特選に輝きました。

NHK と NHK 学園の共催で、年に 1 回開催されていて、今回は全国から 48,252 句の作品が集まりました。縣さんは、「光」をテーマにした作品で募られた題詠部門で右記の作品が特選に選ばれました。

1 月 15 日、NHK ホールで行われた大会(2 月 4 日 NHK 教育で放映)では、選者の星野高士さんから「いかにも勝独楽らしい光の渦で、佐世保ごまが回っている姿が目浮かびます。季節の発見とことばの新しさをこの句から教えられました」と講評を受けました。

縣さんは「小学生時代、佐世保ごまで『イキナガショウモン ショウクラブ』と言いながら、友だちとよく遊んだものです。そのころのことを思い浮かべながら、今回の俳句をかきました。

俳句は、学生時代にはじめ、現在は俳句結社「春嶺」(唐津)で俳句活動を行っています。

俳句は、一瞬の感動をとらえるもの。自分自身を追求・探求しながら、これからも晴れやかな俳句をうたっていきたいと思えます」と話していました。

勝独楽の
光の渦と
なりにけり

